



Studio Elite Deluxe
NAMM2005 Edition

JAMES TYLER GUITARS DEALERS:

池部楽器店ギターズステーション 03-3477-0089(デラックスモデル展示店)
新星堂ロックイン新宿店 03-3354-5502
山野楽器本店 03-5250-1063
ビッグボス名古屋店 052-242-0062
カワイ楽器盛岡ショップ 019-623-7982
新星堂ロックイン吉祥寺店 0422-23-2311
石橋楽器店新宿店 03-3350-1484
大東楽器RH枚方店 072-843-3000
黒澤楽器店お茶の水駅前店 03-3293-5625

ビッグボスフリークスマーケット 03-3518-4800(デラックスモデル展示店)
新星堂ロックイン仙台店 022-215-1175
石橋楽器店渋谷店 03-3770-1484
リアルギターズ 06-6380-4455
ビーンズギターショップ 0263-32-9006
新星堂ロックインなんば店 06-6644-2839
石橋楽器店池袋店 03-3980-1484
ジュンセイギターズ 0568-31-3191
<http://www.cfe.co.jp/tylerguitars/index.html>



JAMES TYLER ジェイムス・タイラー StudioEliteDeluxeNamm2005Edition

Top ● Exotic Maple Bent Top
Body ● Mamywo Or Alder
Neck ● 5Piece Birdseye & Mahogany
Fingerboard ● Madagascar Rosewood
Pickup ● Humcancelled Single Coil
(Front & Center),
Studio Elite Humbucker (Rear)
Bridge ● Wilkinson VG-300 (Gold)
価格 ● ¥1,048,950 (税込)

変幻自在の スーパー・トーン

見た目も非常に美しいキルト・メイプル。透明感溢れるフィニッシュで「おっ、ただ者ではないな!」と思わせるギターですが、そのコントローラー部分を見ると……う〜ん、ただ者どころではありません。これは“くせ者”(笑)。なんとスイッチだらけではないですか! と言うことでちょっとだけ“構えて”試奏を始めたのですが、

なんと分かりやすい。最初の戸惑いは数分で解消されました。意味の分からないスイッチがまったくない。どのスイッチも確実にトーンに跳ね返ってくるのです。まさしく変幻自在のスーパー・トーン。これまでエフェクターをこねくり回して作っていたような、基本となるトーンが殆ど手元でコントロール出来ます。お見事!



D'AQUISTO ダキスト DQ-JZ-J

Top ● Laminated Flame Maple
Side & Back ● Laminated Flame Maple
Neck ● Maple
Fingerboard ● Ebony & Maple Binding
Pickup ● Original Metal Covered
Humbucking × 2
Bridge & Tailpiece ● Ebony, Height
Adjustable
価格 ● ¥336,000 (税込)

もう1つの マスター・ピース

ダキストのジャズ・ラインを15インチ・ボディにリメイクしたニューカマー。オリジナルは17インチですが、少し大き過ぎて扱いにくいと感じていた人も多いのでは? そういった意味でのダウンサイジングは有り難いですね。これだけ演奏環境が整備されて、音量・目的の音質とも簡単に入手しやすくなった現在、ダキスト氏が、

もし生きていれば今回のような変更をしていたのでは……と思いますがいかが? もともと先進的なことにチャレンジしていた人です(って、誰に同意を求めてるんだろ?)。オリジナル同様にトップ、サイド、バック全てにラミネートのメイプルを使用してトーンを作っているところも好感が持てます。



FARGEN ファージェン Custom shop / Black Birds 30W

チューブの暖かさを持った クリーン・トーン

Output ● 30W / 18W
Control ● Volume, Reverb, Treble, Mid, Bass
Tube ● 12AX7 × 3, 12AT7 × 1, 6V6 × 4
Speaker ● Weber Alnico 12inch Speaker
価格 ● オープン

なかなか気持ちの良い音です。クリーン・トーンというバキバキしたイメージがありますが、このアンプには独特の暖かさがありますね。それでいて透明感のある伸びやかな音。シルクの肌触りと言った感じでしょうか。ヴォリュームを上げていくと、いかにもチューブといった感じの自然な歪みが出てコンテンポラリーな楽曲

にも良く合います。コントロール系統はシンプルですが、それぞれが十分な効果を持っているので音作りの幅は広いですよ。それぞれのつまみがきちんと自分の仕事をしている(笑)。でも、これって大切ですよ。搭載されているアキュトロニクス社製リヴァーブの利きもナチュラルで心地良いものなので、即戦力として使えます。